

立地適正化計画策定スケジュール

年度	検討項目	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
H29	都市の現状把握及び課題の分析												
	まちづくり方針及び目指すべき都市構造の検討												
	都市機能誘導区域に関する方針の検討												
	居住誘導区域に関する方針の検討												
	住民アンケート調査												
	立地適正化計画策定会議												
会議等	庁内検討会議												
	町民意見交換会												
	都市計画審議会												
H30	都市機能誘導区域・施設の設定												
	居住誘導区域の設定												
	計画の目標管理												
	計画書の作成												
	立地適正化計画策定会議												
	庁内検討会議												
	町民説明会												
	都市計画審議会												
	パブリックコメント												

八雲町の都市の現状及び課題

現状

- 少子高齢化・人口減少
- 都市計画区域は八雲地区のみで、元々コンパクトなまち
- 人口集中地区は平成22～27年で、人口・面積ともに減少
- 平成25年時点で8,770戸の住宅のうち、1,070戸が空家

少子高齢化・
人口減少

まちづくりの課題

人口減少・少子高齢化
への適応

厳しい財政状況

- 厳しい財政状況
- 現状規模の公共施設を維持するには、必要な費用の半分程度が不足

厳しい財政

効率・効果的な
公共サービスの提供

- JR線路より海側は、津波浸水等の可能性あり

災害の可能性

安心・安全の確保

- 商業地は、駅前商店街と国道5号沿線に集積
- 市街地の人口密度は比較的維持されている

まとまりある
市街地

より利便性の高い
市街地形成

JR利用は減少が続く

- JR利用は減少が続く
- 公共交通は、函館バスが通るが、1日3往復程度の路線

公共交通の
利用が少ない

- 事業所数・従業員数は減少
- 地価は低下が続いている

地域経済の
活力低下

新幹線開業インパクト
の活用

- 自動車交通は利便性が高く、需要も高い

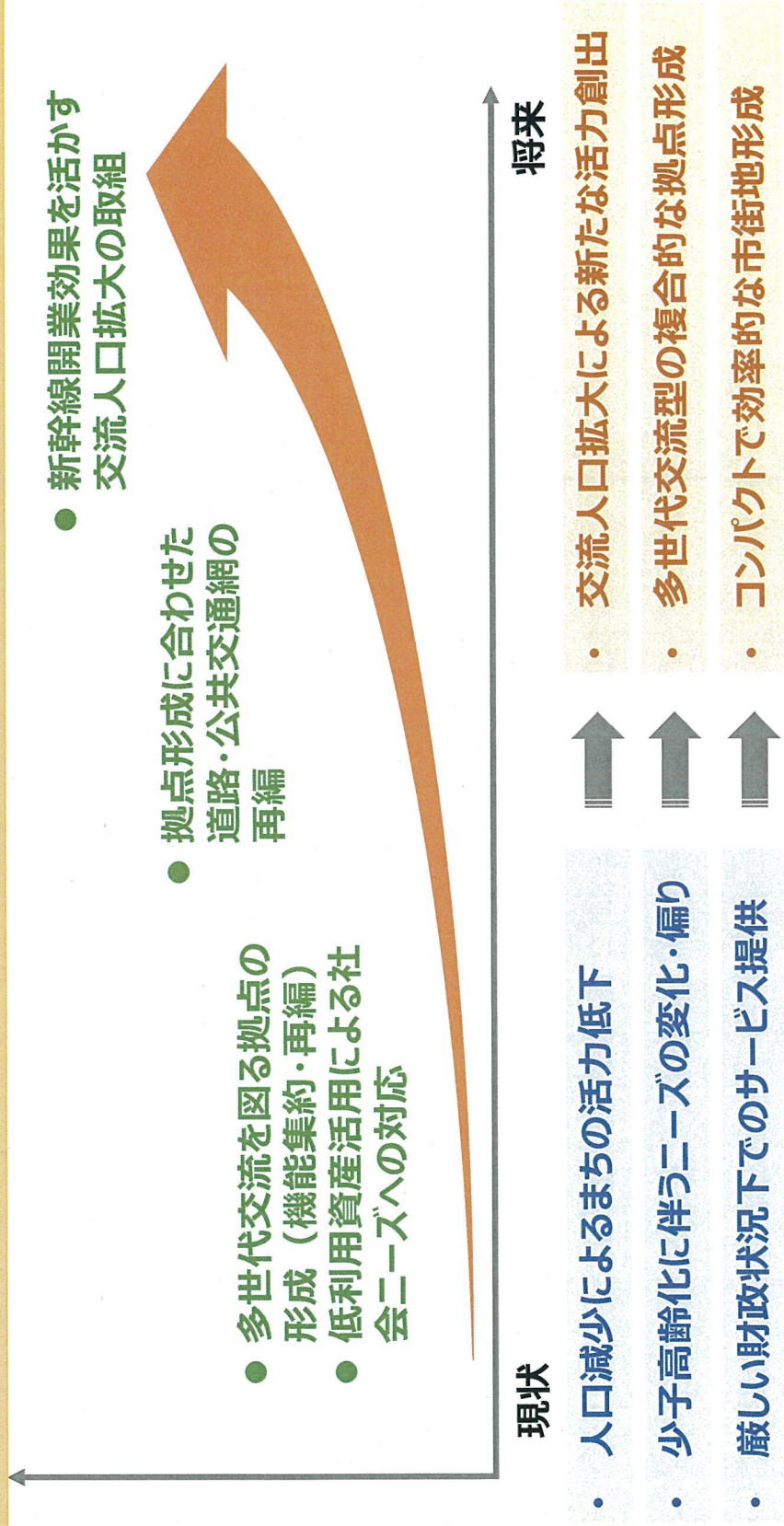
- 北海道新幹線 新八雲（仮称）駅が2030年に開業予定

広域交通の
新しい動き

まちづくり方針及び目指すべき都市構造

(1) まちづくり方針

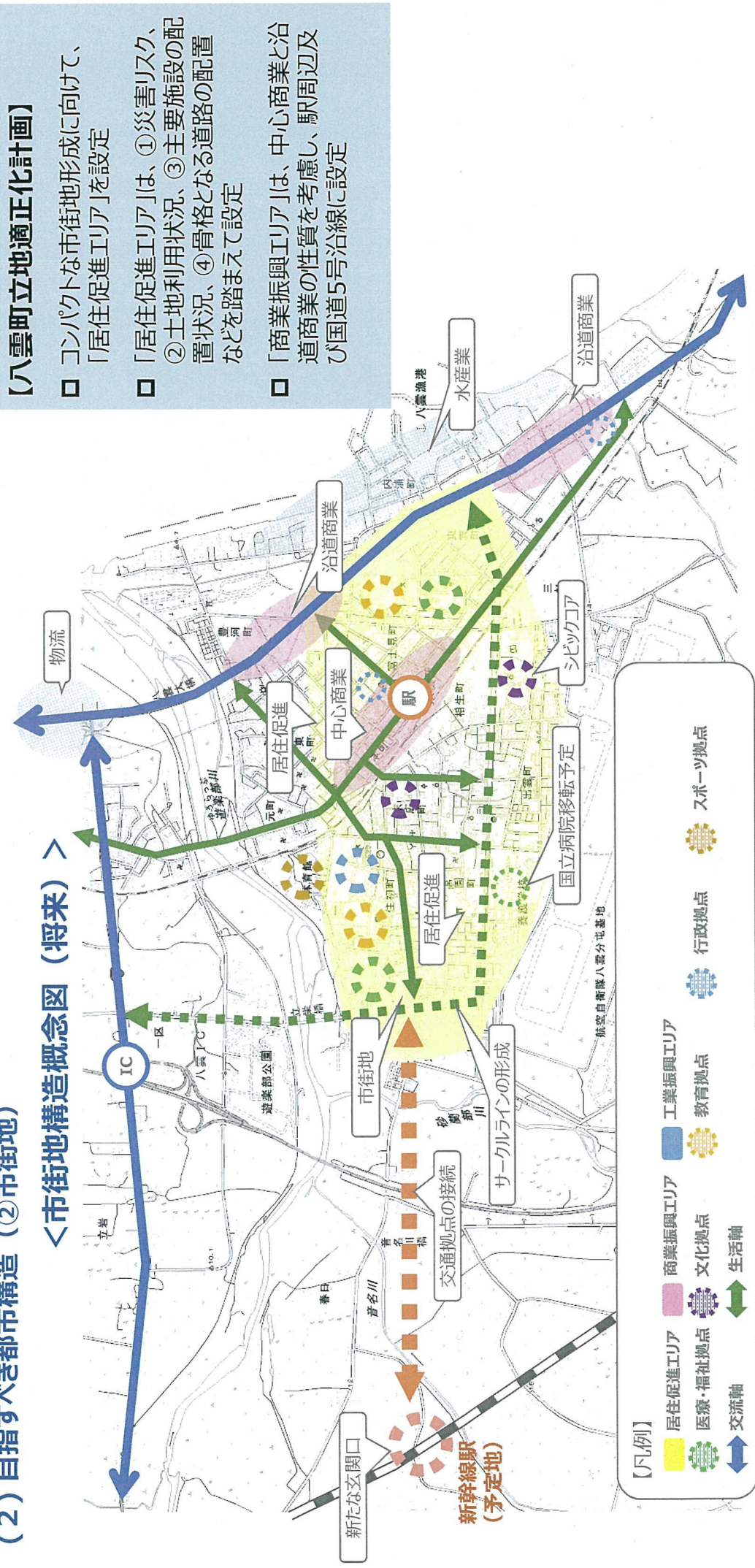
まちづくりの方針
子育て世代も集まれる多世代交流型拠点づくりにより、
誰もが安心して暮らせるまちづくりを目指す



まちづくり方針及び目指すべき都市構造

(2) 目指すべき都市構造 (②市街地)

＜市街地構造概念図 (将来)＞



【八雲町立地適正化計画】

- コンパクトな市街地形成に向けて、「居住促進エリア」を設定
- 「居住促進エリア」は、①災害リスク、②土地利用状況、③主要施設の配置状況、④骨格となる道路の配置などを踏まえて設定
- 「商業振興エリア」は、中心商業と沿道商業の性質を考慮し、駅周辺及び国道5号沿線に設定

【凡例】

- 居住促進エリア (Yellow square)
- 商業振興エリア (Pink square)
- 工業振興エリア (Blue square)
- 医療・福祉拠点 (Green circle with cross)
- 文化拠点 (Blue circle with cross)
- 教育拠点 (Yellow circle with cross)
- 行政拠点 (Blue circle with cross)
- スポーツ拠点 (Yellow circle with cross)
- 交流軸 (Blue double arrow)
- 生活軸 (Green double arrow)

0 1km

3・4・2出雲通

1工区

新規工事区間 L=300m

平成24年度調査起点

SP=1288.474

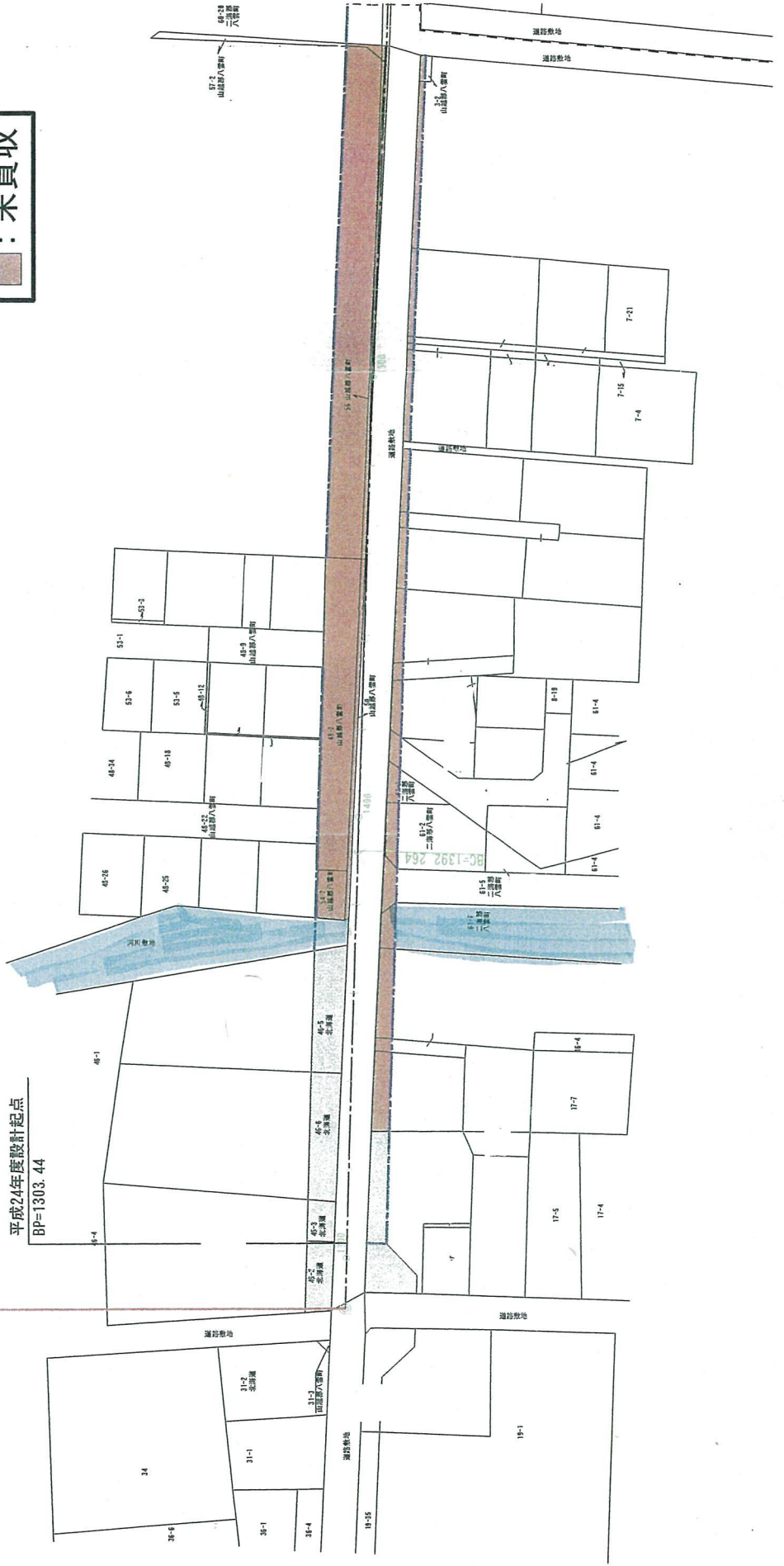
X=-194.265.896

Y= 1.573.859

平成24年度設計起点

BP=1303.44

	: 買収済
	: 未買収



八雲町建設課都市計画係

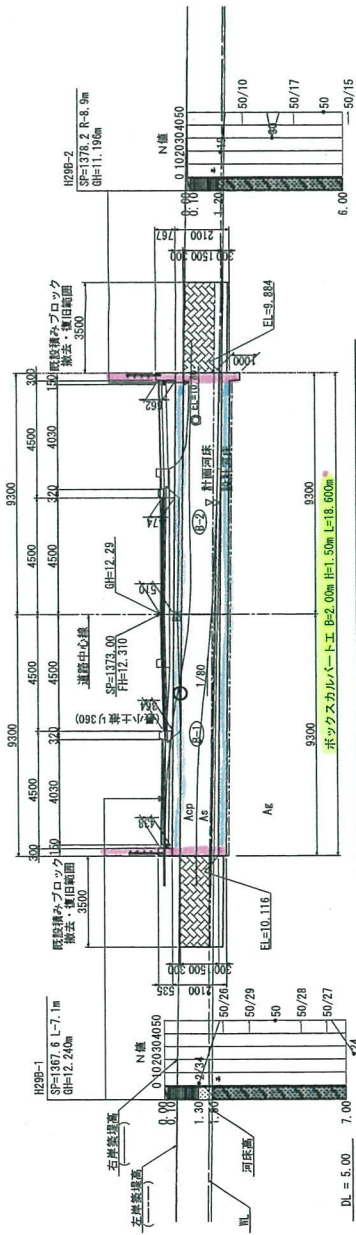
平成 29 年 12 月 19 日 火曜日



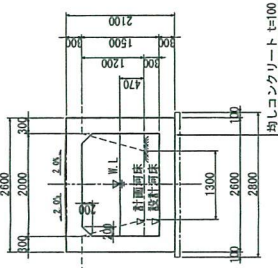
現場打ちボックスカルバート工一般図

SP=1373.00 B×H=2.00×1.50

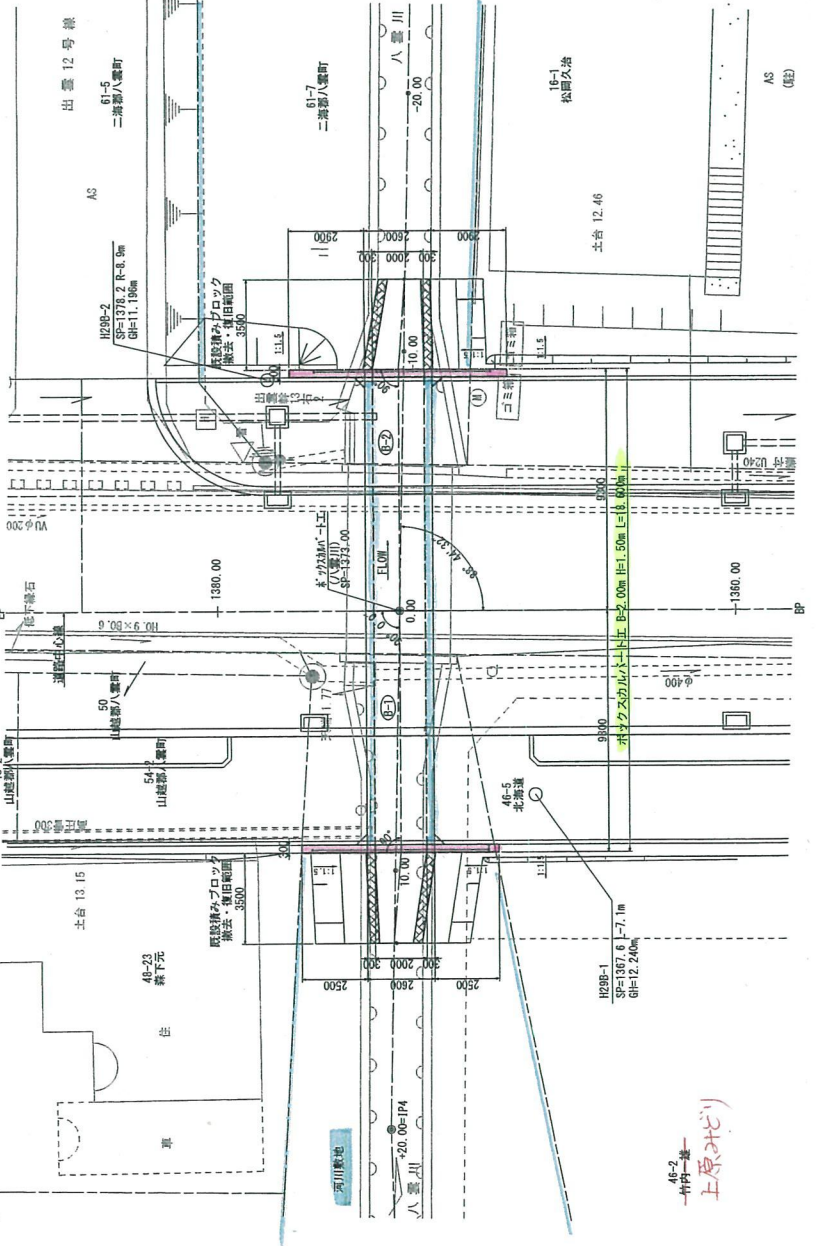
側面図



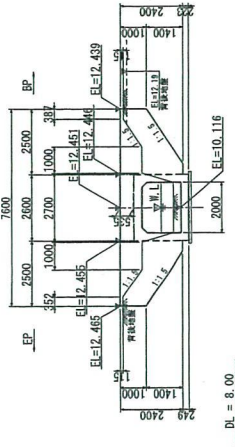
断面図 S=1:50



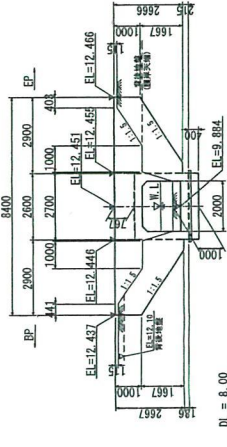
左口正面図 S=1:100
(B-1 左口側)



平面図



右口正面図 S=1:100
(B-2 右口側)



4B-2
一竹町一
上原みどり

工事名	3・4・2 改修工事		
図面名	ボックスカルバート工一般図		
作成年月	平成 29 年 ** 月	図示	00 / 00
枠尺	図示	株式会社	株式会社
製作者	北海道建設総合振興局道路建設管理部		

設計条件	σ _c =24N/mm ² σ _s =24N/mm ² SD345 γ=19kN/m ³
使用材料	RC部材 コンクリート 鉄筋 盛土材
標準設計等	標準設計等 R22.3 (日本道路協会) R11.11 (建設省) 土木建築物設計マニュアル(第1版) 道路工事設計要領 図説.4 (北海道建設部)

八雲都市計画道路の変更（北海道決定）

都市計画道路中 3・4・2 号出雲通を次のように変更する。

種別	名称		位置			区域	構造				備考
	番号	路線名	起点	終点	主な経過地	延長	構造形式	車線の数	幅員	地表式の区間における鉄道等との交差の構造	
幹線街	3・4・2	出雲通	八雲町東雲町	八雲町栄町	八雲町出雲町	約 2,520m		2車線	18m		主要道道八雲北桧山線
			八雲町東雲町	八雲町相生町		約 470m	嵩上式			15.5～33.5m	
			構造の形式の内訳							約 2,050m	

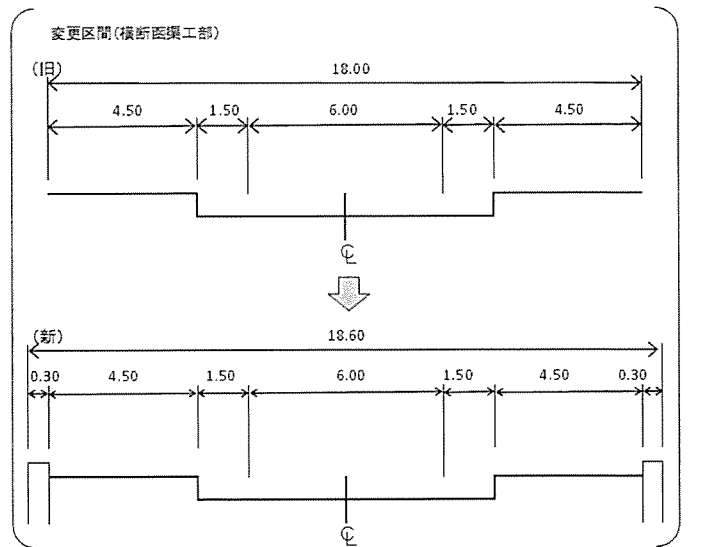
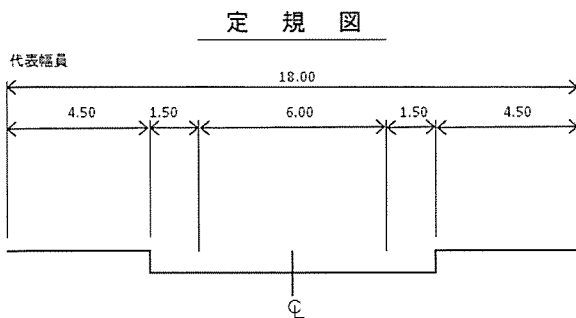
「区域及び構造は計画図表示のとおり」

理由書

3・4・2号出雲通の事業実施に伴う横断函渠工の詳細設計を行った結果、横断函渠工の区間において一部幅員を変更する。

変更説明書

新		旧		変更内容
番号	路線名	番号	路線名	
3・4・2	出雲通	3・4・2	出雲通	一部幅員の拡幅変更 (18m→18.6m、変更区間 L=8m)



「単位：m」

都市計画の策定の経緯の概要書（北海道決定）

八雲都市計画道路の変更

事項	時期	備考
北海道都市計画課下協議 説明会	平成29年11月15日 平成29年11月20日 平成29年12月 1日	関係者への説明 (隣接地地権者2名)
八雲町都市計画審議会 北海道への案の申し出	平成29年12月20日 平成29年12月20日	
北海道都市計画審議会（幹事会） 市町村の意見聴取	平成30年 1月30日 平成30年 2月 上旬	(予定) (予定)
八雲町都市計画審議会 都市計画の案の縦覧告示	平成30年 2月 上旬 平成30年 4月 上旬	(予定) (予定)
都市計画の案の縦覧	平成30年 4月 上旬から 平成30年 4月 下旬まで	縦覧者数 名 意見書提出 有・無
北海道都市計画審議会（本審査） 決定告示	平成30年 5月 中旬 平成30年 6月 中旬	(予定) (予定)